



入山辺から北アルプスを望む Photo:丸山英明(高19回卒)

会報

あがた

松本県ヶ丘高等学校東京同窓会

発行所
松本県ヶ丘高等学校
東京同窓会
〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-10-15
ポストインネットワーク内
TEL.0422-23-7620
発行人:小林 全

早春賦！このメロディを聴く度に、遙かに過ぎた安曇野の情景が浮かび常念岳を懐かしく思い起こします。高校卒業をこの三角山を仰ぎ見て育ったことの証なのでしょう。早春賦が「吉丸二昌作詞・田中章作曲」であり、歌の舞台が穂高町なんだと認識したのは、つい最近のことでした。不勉強なのか、或いは過去を忘れていたのか。年を重ねる度に忘れるものが多くなるよう

今年には三百二十一名の生徒が卒業される。また毎年卒業生の三分の二が進学されている。との情報をいただきました。東京同窓会は関東地域に在住する県陵卒業生で構成されています。創設以来、記録の上では、五十八年を数えます。現在三千名を遙かに超えています。執行体制も役員諸氏のご尽力に支えられ、益々充実の一途に



早春の常念岳

東京同窓会会長

小林 全 (高4回卒)

勤められ、案内状も三千名の同窓生に発送されます。懇親会のテーマは「絆」。未来につなげ県陵生の輪。同窓の絆を大きく広めていきましょう。出会いと語り合いを大切に、同窓の友人・知人お誘い合わせ、是非お出掛けください。会員皆さんの一人でも多く参加していただくことをご期待し、東京同窓会役員一同心からお待ちいたします。

に感じます。三月。今年は春を迎えてからの降雪が多くありました。紺碧の空に優雅な常念岳が雪化粧に冴えているに違いないと思われます。この時節、学舎を卒業された皆さんは、希望を新たに進学、或いは夫々の目標を目指し上京される方が多いことでしょう。母校校長・京田伸吾先生のお話によれば、あります。毎年関東方面に住まわれる新進気鋭の同窓生を迎え、同窓会員数も豊かになります。間もなく東京同窓会の季節が来ます。今年の第三十八回東京同窓会総会・懇親会は六月十一日開催に向け役員一同その準備に奔走の最中であります。高校二十七回の卒業生の皆さんが実行委員(実行委員長上條彰一さん)を

第38回 県陵東京同窓会 定期総会・懇親会の案内

日時:平成17年6月11日(土)午後4時00分~7時
場所:ホテル海洋 4階 レインボーホール
会費:10,000円(高48~57回卒は4,000円)

総会 ①会務報告 ②会計報告 ③監査報告 ④その他
懇親会 県陵の現在と過去のスライド上映・業種や趣味などの懇親・合唱「わたしの願い」

※詳しくは同封の案内書をご覧ください。





魚が海底を泳ぐとき

松本県ヶ丘高等学校校長
京田 伸吾

今年もまた、321名の「あがた」の後輩が県陵を巣立っていきました。

彼らに、県陵魂の誇りを持って、先輩たちがつぐんできた絆を大切に育んでいってもらいたいと願います。

私達もまた、目を閉じて心の窓を開け、あの県陵の三年間を振り返って見ましよう。今も昔も、夏の県陵祭、春と秋のクラスマッチ、合唱コンクール、強歩大会は変わっておりません。後夜祭でのファイヤーストーム

の炎の中で、泥水まみれになって踊る姿は、友との心の絆でした。合唱コンクールでは、ひたむきな感動の絆を歌い上げました。強歩大会での30km余りを走り続ける私達の肩には、仲間とのさわやかな絆がありました。

絆は、糸へんに半分と書きまします。人は決して完全ではありません。半人前の人と人を「ひたむきさ」と「さわやかさ」の糸で繋ぎとめるのが、絆です。あれから30年、50年。私達はこの「ひたむきさ」の横糸と

「さわやかさ」の縦糸で自分だけの絆を織り込んできました。

私達は、県陵で学んだ、単語

文法、公式はすっかり忘れま

したが、県陵祭、クラスマッチ、

合唱コンクール、強歩大会、そ

して教室を通して得た友、仲間

のことは、決して忘れておりま

せん。友は一生の友となり、仲

間は、生涯の仲間となりました。

親からもらった命のバトン

次の世代に引き継いでいくと

き、命のバトンは、まさに人と

の交わり、人との助け合いから

得られました。

そして、私達それぞれが、自

らの衝突、苦痛、苦悩を乗り越

え、達成、感謝、喜びに至った

あの県陵の三年間が、生涯にわ

たつての心の糧となりました。

イギリス・湖水地方に次のよ

うな諺があります。

The best fish swims near the

bottom.

正に、人生の最高のものを得

るには、深海の底を泳ぐ苦痛が

必要なかも知れません。私達

は毎朝、毎夕、昇降口前の碑で

見慣れてきた三大精神を思い出

すことにより、その人生の苦痛

を超越することを学んできたの

かも知れません。

この21世紀の不確実な時代に

おいて、新しい321名の若人

とともに私達は、仲間との強い

絆でもって、次なる時代を切り

開こうではありませんか。私達

の未来は、今、はじまります。



知恵と汗

松本県ヶ丘高校同窓会会長
小林 清完
(中15回卒)

はじめに

いつもご高配にあづかっております。県陵東京同窓会の皆様こんにちは。お変わりないことと存じます。

松本平は春めいて参りました

が(編集注・執筆時期・三月末

日)、朝夕は寒く桜の木はまだ冬

の姿であります。開花は四月中

旬と言われますが?例年に比べ

て雪や雨が多いような気がして

います。北アルプスの連山はい

つもの通り、見事そのもので心

が晴れ渡ります。母校八十年祝

賀事業は皆様の手により計画ど

うり出来たと思ふ間もなく、開

校八十二年となります。ご協力

ご指導にあらためて、御礼申し

上げます。本会事業の一つ「陵

友館」は在校生に喜ばれ、順調

これから

長野県の高校の環境は少子化のため、たいへん厳しい状況で

数は昨年四月から本年三月までの一カ年間で延べ約一万人となりました。開館は、平日十六時〜十八時、土曜日九時〜十七時、長期休業時九時〜十七時となっております。関係者のご苦勞に深謝しております。

信州松本 美ヶ原温泉

ゆたかや旅館

〒390-0021 松本市里山辺 272

TEL・FAX 0263-32-4107

中15回卒 小林 清完



代表 安藤 久美子 (高22回卒)

*信州の味 *山芋料理

Dining Bar
HANA TEMARI
(和風料理)

〒160-0004
新宿区四谷3丁目7番 かつ新ビル2F
TEL・FAX 03-3355-8710
http://hanatemari.hp.infoseek.co.jp





あります。県教育委員会の「高校改革プラン検討委員会」の答申が最近出され、公立高校数を九十校から七十四校へ減ずる方向が出され引き続き四ブロックごとで審議会を起し論議が続きます。



松本市の合併

松本県ヶ丘高等学校同窓会

事務局次長 熊井 靖夫

(高18回卒)

平成十七年四月一日四賀村・安曇村・奈川村・梓川村が、松本市へ編入合併となる。人口二十二万九千三百人余、東は美ヶ原から西は槍ヶ岳まで。市会議員は、松本市はそのまま。四賀、安曇、奈川各一人、梓川二人選挙にて選ばれて合計三十九名にて議会が構成される。平成二十三年からオープンとなる。

住居表示は、四賀村は四賀という文字が消え、松本市反町0番地、刈谷原町、七嵐、赤怒田、殿野入、金山町、保福寺、中川、穴沢、取出、板場、会田、五常となり、松本市梓川梓00番地、梓川倭、梓川上野、松本

ます。今日までも地域との協働内容の充実に心掛けておりますが、一層の努力が必要かと存じます。東京同窓会の皆様は堪能な方揃いであります。お知恵をお貸しください。新しい方向を

探り、皆さんで手をとり合って汗をかき、母校を通じて人造りに少しでもお役に立つ同窓会にと願います。特に若い方、女性の方、積極的にご参加してください。内外ともに災害、事故、

事件が多く政治、経済は多難であります。前向きにお取り組みくださいますよう、また会長様始め皆様のご健康とご発展をお祈りいたします。有り難うございました。

市奈川00番地、安曇00番地となる。

合併については様々な議論を呼んでいる。国による推進方針は、地方分権時代の到来、少子高齢化・人口の減少、超高齢化社会の到来、国・地方を通じての財政危機等をあげている。ちなみに波田町、山形村は自らの道を選択しました。しかし、ゴミをひとつ例に取りますと、一市五村にてクリーンセンターを立ち上げ、広域で対応しているから、恩恵を受けていると言えましょう。

確かに合併のデメリットは具体的に意見として、はつきりと出てきますが、メリットは、広

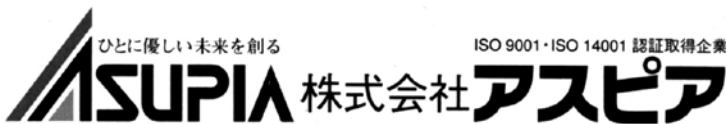
域的なまちづくりが出来ることや、行財政基盤が強化されるといっても、抽象的であり、あまり訴えるものがない。

しかし、どんな地域を目指すべきなのか、その為に合併する必要があるのか無いのかを先を見据えて、感情論でなく考えなければならぬと思う。

ちなみに、地方債残高(住民の借金)について、一人当たり松本市約七十九万円、四賀村百三十八万円、安曇村三百三十二万円、奈川村四百九十九万円、梓川村九十九万円、(波田町百四十六万円)となっている。今後合併した後も、真剣に行財政改革を実施して健全運営をしていかねばならない問題である。

さて我がふるさと新村は、五一年前(小学校入学時)松本市に合併となり、上水道が布設された事「すごいことだな」と、関心した事を思い出しました。

総合建設業・一級建築士事務所・不動産企画開発



ISO 9001・ISO 14001 認証取得企業

代表取締役 百瀬方康 (高校22回卒)

本社:長野県松本市宮淵1-3-30 〒390-8639 TEL.0263-32-8855 FAX.0263-35-1618
http://www.asupia.co.jp/ E-mail:info@asupia.co.jp

信州・松本 浅間温泉
心づくしの宿



美肌の湯

政府登録国際観光旅館 松本市浅間温泉 3丁目5番23号



TEL.0263-46-1711 FAX.0263-46-1715
URL http://www.daiichikankou.co.jp/westin
E-mail Weston@daiichikankou.co.jp

第一観光株式会社
取締役相談役 渡辺 徳明 (高1回卒)



(県陵27期生)からのメッセージ

県陵生の輪



実行委員長
上條 彰一



事務局長
藤森 方志

県陵卒業30年は、「あっ」という間でもあり、また反面、長く感ずる期間でもありました。今回の実行委員会はその30年間、および高校時代

ゆっくり楽しめる同窓会に

の思い出を語りながら準備を進めてきました。限られた時間と能力の中で精一杯頑張りましたので、先輩・後輩の皆さんは当日ゆっくり楽しんでほしいと思います。



企画担当
百瀬 健昭

今回、実行委員会の集まりに参加し、久しぶりに旧友達と再会することができました。髪型や体型

“新たな絆”深めたい

が変わっていましたが、皆、昔の面影を残しており、大変懐かしく感慨深いものがありました。6月11日に新たな絆を深められることを願っています。

県陵東京同窓会会員の皆さん、第38回総会・懇親会の準備をさせていただいてます実行委員会を代表して、ご挨拶を申し上げます。

実行委員会は、昨年の総会後の8月の「納涼会」を準備会とし、9月の「27期東京の集い」を第1回として出発しました。実行委員会には後輩(28、29期生)を含めて、20名を超える素晴らしい仲間が集まってくれ、準備作業を進めています。

今回のテーマ「絆—未来につなげ県陵生の輪—」は、第2回も実行委員会で、“侃々諤々”の議論(実際は参加者の多数決)で決まったものです。これまでの横(同輩)や縦(先輩・後輩)の繋がり(人間関係)のもとに、今回の取り組みを通して、「終生の関係となるような親密な関係へと発展させたい」という思いが込められています。こうしたテーマにふさわしい内容にしたいと考えています。

何よりも、総会・懇親会の成功の鍵は、多くの先輩や後輩の皆さんに参加いただけるかどうかにかかっています。ぜひ、お知り合いの同窓生に声をかけていただき、ご一緒に参加くださいますようお願いいたします。

多数の参加をお願いします

井上・布施合同特許事務所

井上 奈緒美(高27回卒)

〒167-0051
東京都杉並区荻窪5丁目26番13号
荻窪TMビル2階
☎03-5397-0891(代)
☎03-5397-0893
E-mail:inoue@ifpat.gr.jp



コチョウランを
お届けします

細江洋蘭園

細江 弘光(高27回卒)
〒390-1241 長野県松本市新村1936
☎・☎0263-48-2511

GLOBIST English School
5-18-15 Maehara-cho, Koganei city Tokyo 〒184-0013
☎042-384-5905 ☎042-304-2422



土肥 妙子
(高27回卒)

e-mail: taeko@globist.co.jp
http://globist.co.jp

第38回県陵東京同窓会実行委員会

“絆” - 未来につなげ

一緒に活動できることを
最高に楽しんでいます

企画担当
土肥 妙子



同窓会の活動に参加したおかげで、今年は特別な年になりました。県陵の頃の友達に、また、新しく出会い直すことができました。6月11日が楽しみというよりも6月11日まで皆と一緒に活動できる事を最高に楽しんでいます。



広報・会計担当
井上 奈緒美



かつての同級生からの誘いで参加した実行委員会ですが、一番の収穫は年代を越えた県陵生の繋がりでした。

「名探偵コナン」ではないですが、「見た目は熟年？心は県陵生」に返れるのが同窓生と過ごすひと時です。ぜひ、皆さんも総会・懇親会に参加して、県陵生に戻った自分を楽しんでほしいと思います。



広報担当
森 紀子

年代を超えた繋がりに

企画担当
田村 良三



昨年、息子が高校に入学し、自分の高校時代の事を思い出しています。東京に暮らすものにと

人との出会いで
人生楽しく

って、故郷があることはとても幸せなことです。その「故郷」が松本である事を私は大切にしたいと思っています。仕事で出会う人だけでは面白くありません。いろいろな人に出会う事が人生を楽しめます。皆さん、この同窓会をきっかけにして下さい。

アサワ 歯科クリニック
ASAWA DENTAL CLINIC

〒142-0041 品川区戸越 6-18-7 ☎03-3785-8011

浅輪 泰子 (高27回卒)

田中社会保険労務士事務所

社会保険労務士 田中 勇司 (高27回卒)

〒399-0735 長野県塩尻市大門二番町7-26 ☎0263-53-2438

奥原社会保険労務士事務所

社会保険労務士 奥原 恵子 (高27回卒)

〒399-0007 長野県松本市石芝4-2-71-201 ☎0263-25-4073



Kenryoh Ladies

ビバ県陵レディーズ

県陵レディーズ代表
久保田 昇子

東京同窓会からの依頼を受け、一九九九年秋に初めて県陵の女性のための企画として、「東京湾クルーズ」を行いました。その時はまだ役員も無く同期の船越さんと若林さんに協力を頼み、(木)に、お二人の協力が県陵レディーズの推進力になっていますが、同窓会の役員の方々と相談しながらの探り状態でした。その後、第一回の昼食会を、東京湾クルーズに参加して下さった女性だけにご案内し、出席して下さった方々に県陵レディーズの役員をしてくださいとお願ひして、県陵レディーズがスタートしました。

人数が足りず、同窓会の男性幹事にいつも協力をしていたとき、今日に至っています。女性は男性より家を空けにくいという事情があり、なかなか参加者が伸びませんが、毎回新しい出会いがあり、少しずつ県陵レディーズを理解をして下さる方も増え、続けることの大切さを感じています。

県陵レディーズの役員も少しずつ増え、最初は七名でスタートしたのに、今は十二名になりました。皆本当にいい人ばかりで、素敵な会になりつつあります。

さて、今年はこの新聞が皆さんのお手元に届く頃には、県陵レディーズの行事は終わっています。五月二十二日(日)に新緑を楽しみながら、屋形船で東京湾を楽しむ会を企画しました。

来年の新聞に行事の様子は載せさせていただきます。お楽しみに。

お座敷列車は時空を越えて。

森屋 通枝 (高15回卒)

その日東京には青空が広がっていました。七月三日、県陵レディーズ主催のお座敷列車での日帰り旅、初めての参加です。目的地は、月夜野、上牧温泉。お座敷列

車とは聞いてはおりましたが、見るのも乗るのも初めて。その列車を目前にした瞬間から、身も心も弾んできました。日頃の喧騒の市街地を後にすべり出すと、さっそく



く車内では、自己紹介あり、歌あり、宴会ありで先輩から後輩まで幅広く旧交を温め、賑やかに楽しい語らいが続きません。ふと車窓に目をやると、利根川上流でしゅうか、その清流、光る稲穂、深い緑の山並み、そこは、はるか昔、母校に通学していた頃のノスタルジーへといざなう田園風景の移り絵です。人生の年輪を重ね、距離も時も遠くにあつた同窓の友でしたが、不思議にもお座敷列車の空間は、一挙に距離も時の流れも逆巻き、青春時代の一頁に戻してくれました。

“信頼できる友を持つことは人生の至福”とある著名な方の言。一

県親連会員宿舎

どようや

奥原 輝男 (高15回卒)
東京連絡所 ☎044-955-7596

〒389-2502
長野県下高井郡野沢温泉村豊郷7914-2
☎0269-85-4102(代) ☎0269-85-2075
ホームページ <http://tabi.joy.ne.jp/toufuya/>

健康ですか?
悩んだり あきらめる前に

松本 整体

〒168-0082 東京都杉並区久我山5-8-17 (京王井の頭線久我山駅前)
☎03(3332)5725 (予約制)
院長 久保田昇子 (高18回卒)

ASKA Research

有限会社 小松清路建築研究所
Co.,Ltd SEIJI KOMATSU ARCHITECT & ASSOCIATES

代表取締役 小松清路 (高23回卒)
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-12-6-1005 TEL.03-3343-5936 FAX.03-3343-4926
1005-6-12-6 Nishishinjyuku Shinjyuku-ku, Tokyo e-mail: A.S.Komatsu.A@osk.zero.ad.jp

インテリアARAKI

内装工事・設計・施工

代表 荒木 仁 (高23回卒・C組)

〒157-0061 世田谷区北烏山7-2-18
☎03-3308-5610 ☎03-3308-5624
mail:gh-araki@com.home.ne.jp



Kenryph Ladies

日の交流でも同窓の友のほのほのとした心情が伝わり、友情を深め、今さらながら県陵出身の誇りが心に染みましました。

最後に役員の皆様、毎年様々な企画進行、大変にありがとうございます。充実した楽しい旅の陰には、いかばかりのご苦労があったことが忍ばれます。
心より感謝申し上げます、この会の益々の発展をいのりつつ…。

県陵レディース主催の「お座敷列車の旅」に参加して

漆原 恒男 (高18回卒)

去年七月三日(土) 県陵レディース主催の「お座敷列車の旅」に参加させていただきました。最終目的地は上牧(かみもく)温泉辰巳館です。新宿を八時十二分に出発し総勢六十五名の大所帯です。私自身お座敷列車も県陵レディース主催の行事にも初参加でした。この列車はゆったり座れる掘り炬燵形式、横並びで真ん中にテーブルがあるといった配列でした。車窓より飛び込んでくる景色の美しさ、列車の適度なスピード、レディースの皆様へのテキパキとしたホステス並の対応のよさ、とても感

動しましてお酒の入ること入ること……。かなり酔っぱらった状態で、11時ごろ無事辰巳館に到着しました。

さっそく湯につかりました。露天風呂は岩風呂で新緑の木々に囲まれ至福の時を過ごすことができました。料理は炭火山里料理ということで囲炉裏焼きです。またここでもお酒が入り気分は最高潮に達しました。飲みっぱなし状態は帰りの車内まで続き、カラオケでは懐かしい歌が飛び交いました。

今回は初めての参加でしたが、次回もレディース主催の行事には参加したいと思う次第です。最後に当日はレディースの皆様にお世話になりましたこと、厚く感謝申し上げます。

大野 奈美 (高31回卒)

県陵レディースの旅行案内は毎年目にしていましたが、家庭の事情もあって参加はいつも見送っていました。今回は友人の誘いもあり、お座敷列車に心惹かれて同期三人で参加しました。

在来線のダイヤをかくぐり時間をかけて走るお座敷列車の中は想像以上に居心地の良い空間でした。貸し切りの気楽さもあり、役員さん企画の楽しいゲームで初めてお会いする先輩方も親しくお話ができるようになりました。レ

ディースのはずなのに男性の参加者が多かったのは驚きでしたが、目的地は谷川岳の麓にある静かな上牧温泉辰巳館 残念ながら谷川岳は雲に隠れていましたが、利根川の清流を眺めると日々の慌ただしさをしばし忘れ心が解き放たれるような気分を味わいました。館内の温泉をほしこした後は囲炉裏を開んだ昼食会。高校時代を県陵で学んだという縁で普通なら知り合うこともできない方達から

様々なお話をうかがえたのは、私にとつて貴重な経験となりました。受験生を持つ親として各界で活躍される先輩からいただいたアドバイスも大変参考になりました。帰りの列車ではギターの演奏と懐かしのフォークソングの合唱で大変な盛り上がりとなりました。ふと気がつくと思慣れた名前の駅に停車中でホームの人達が覗きこんでいます。テーブルに林立するお酒の瓶と日中から盛り上がりつつある車内は、さぞかし不思議な光景に映ったことでしょう。

同窓会の行事というと敬遠しがちでしたが、多くの先輩に出会うことができる楽しく有意義な経験でした。これからも多く同窓生が参加し、ますます発展していくよう願つてやみません。旅行の企画運営にご尽力いただきました東京同窓会や県陵レディースの役員の皆様には本当にお世話になりました。心よりお礼申し上げます。

信州・松本 / 浅間温泉
ホテル 玉之湯
和風レストラン 松風
山崎 正治 (高5回卒)
〒390-0303 松本市浅間温泉1-28-16
☎0263-46-0573 ☎0263-46-5178



●診療科目●
小児科・内科

Mimura
MIMURA CHILDREN'S CLINIC

みむら小児科クリニック

院長 三村 明朗 (高24回卒)

〒158-0081 東京都世田谷区深沢 4-11-3
☎03-3705-3322

●(東急バス)東深沢小バス停下車すぐ

ゴルフ会員権のことでしたら何でもお気軽に

関東ゴルフ会員権取引業協同組合員
株式会社 **ゴルフ・プラザ**
代表取締役 山本 靖弘 (高13回卒)

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-5-8
☎03-3271-2155 ☎03-3271-2133



希望の星



樋口和博
(中1回卒)

美しく輝いていた大きな星が突如として流れて消えてしまいました。弁護士としては法曹界のホープとして、希望の星として将来を期待されていた上、松本県ヶ丘高校東京同窓会会長として数多くの同窓生を大事に、おおらかに育ててきた山岸光臣先生でありました。ご家族の皆様や多くの親しい友人、同窓会の人達に惜しまれて悲しまれて旅立ってしまった。惜しみも悲しみも限りない

安らかに眠りください

ことでもあります。

あなたは信州人として気骨のある人生を過ごして参りました。正義感の一人に強い人でした。曲がったこととは絶対に許さない強い気迫の持ち主でありました。それに加えて責任感が極めて強い人でした。あなたも同窓会会長の責任を果たすために同窓会総会に出席し、立派に堂々と会長挨拶をやって参会の皆さんに強い感銘を与えました。これがあなたの最後の挨拶でした。

お通夜のご焼香にも数多くの方が参列されました。その中で特に、悲しみ深く手を合わせ涙を流している、ご夫人方を多く見ることができました。あなたの庶民的生活の一端を察することができました。

告別式の当日も数多くの方が御参りに見えて、葬儀車が動き出すと「風が十字にあらふれ狂う」の校歌がその後を追うようにして悲しみを込めて歌われました。私もその一連の中にあって涙をこめてお別れの歌とともに合掌しました。そのとき、ふと私の頭を横切ったものは、この葬儀車から特別仕立ての立派な飛行機に乗り移ったあなたは、そのタラップに立って笑顔たたえ、「これから遠い国へ旅行に出かけます。皆さん涙を流さないで下さい。私の心は必ず皆さんの処へ帰ってきます。どうぞ笑顔で送ってください。私はやることは全部やり尽くしました。思い残すこともありません。お見送り有り難うございました。」と笑顔で手を振ってくれました。私はいつまでも出る涙をふり拭いながら、「さようなら、お元気で」と答えたものであります。

会葬

故 山岸光臣君を偲ぶ



西村昌三
(高3回卒)

東京同窓会会長の山岸光臣君が逝った。最愛の家族として彼を敬慕してやまなかった多くの友人や知人を残して、72歳の現役のままあつげなく逝ってしまった。無情というほかはない。彼の逞しい生命力をもつても病気にはついに勝てなかったのである。

私が彼と初めて会ったのは戦後間もなく、彼が旧制上田中学から松本二中に転校してきたときである。萌黄色の洋服を着て教壇に立ち、にこりとせずびよこんと頭を下げたときの彼をいまでも覚えている。二中は前の学校から指定されたといっていたが、後年そのことが話題になったとき、県ヶ丘へ来てよき先生や友人に恵まれ、本当によかったと真顔で述懐していた。われわれにとつて、彼は二つの顔があった。一つは友人として、もう一つは申すまでもなく弁護士として。しかし本人はどんな場面でもそれを意識して使い分けるところを知らなかった。生前のある時期、私の関係する財団法人の仕事を手伝ってもらったときも、顧問弁護士という立場を超越し、終始友人として力に当たってくれた。彼の豊かな人間性を垣間見た思いがして、厚い友情に感謝した。

彼は多年にわたり弁護士活動を通じて、国民生活の安定と法曹界の発展に尽くしてきた。その一方で個人

的には人との出会いや絆を常に大事にしてきた。だから彼のまわりにはいつも人が多く、外神田の事務所は千客万来、談論風発が絶えなかった。その彼も今ごろはあの世で、大きな車座の真ん中に居て、にぎやかな談笑に明け暮れていることだろう。ご冥福を祈り、会葬。

畏友 山岸光臣君に感謝



青木良平
(高3回卒)

松本二中、高校、大学と共に机を並べた友ながらも、卒業後数年間はお互いに社会に出ての厳しい修行の期間にて稍々疎遠気味でありました。そんな中、或る日突然に、君は難関の司法試験に既に合格し今やその研修も終え、晴れた弁護士として開業しているとの報に接した時、友として嬉しく、また君を誇りあるものとして観じられた思いがあります。

その後、私事にて恐縮ながら小生が転動にて米国に赴任するに際しては、君が幹事役となり在京同級生による送別会の開催を賜ったところ殆ど全員の参加を得ての盛大なものとなり、結果これが東京三陸会の結成の端緒となり、以来君は東京三陸会会長として最後までご盡力またご交誼を賜りましたこと改めて感謝しているところであります。

そしてまた、後年に至り、君が東京同窓会会長への就任を依頼されました時、君のご公務極めて多忙であったこともあり、当初は強くこれを

全日本花いっぱい連盟会長
県ヶ丘高校同窓会副会長

有賀正

(高2回卒)

〒390-0825 長野県松本市並柳1-2-10 ☎0263-25-4848

小林全

(高4回卒)

〒143-0025 東京都大田区南馬込 4-22-15

☎・☎ 03-3772-6251



山岸 前会長追悼 さようなら



拒絶しご就任を躊躇されておりましたこと思い出されるところであります。然しながら、多くの同輩の要請とともに、君ご自身の県陵に対する熱き思いと母校愛の情熱には抗しきれずやむを得ずご就任を受諾されたことを、よく承知しております。今日の東京同窓会の他校には見られぬ充実した内容ある発展をみる時、ひとえに君の会長ご就任あつてのことと思われるところにて、改めて感謝とともに厚くお礼申し上げます。それにしても、君の突然でありながらも早い逝去には唯々涙するばかりです。が、これまでに至る君の県陵に対する諸々の熱き思いと母校愛の精神は今や、それは御霊となりてあの県ヶ丘に永久に存在し続けるものと確信しています。

どうぞ安らかにおねむりください。

会章

さようなら 山岸光臣さん



松澤 弘子
(高4回卒)

昨年、きびしい残暑から解放された九月下旬に、山岸さんは逝かれてしまいました。9月25日に役員の方からの電話で知りました。9月27日お通夜、28日告別式は調布の斎場でした。お人柄でしょう、他校出身の方も多数弔問に見えていました。お別れは、同窓の参列者で校歌を唄ってお見送りしました。

前回6月の東京同窓会にはご出席になり、少しお痩せになったかなと感じました。会長挨拶ではいつものやさしい言葉で、これからもお続けになるとの事でした。いつも会報「あがた」の第一面には、心に残るお話を頂いていました。昨年の会報では啄木の詩を例に

ふるさとの なまりなつかし
停車場の 人ごみのなかに
それを聞きにゆく
と詠んでいるではないですか。「どうだいね、たまにや出てこねえかい。一緒にわいわいやりましょよ。」と書き残しています。

私は結婚して上京し、東京同窓会があることを知って、毎年出席するのを楽しみにしています。最近では、2年先輩の大沢正市さんが二次会を設けて下さり、山岸さんと同期の方5、6名に、私と同期の田中文字子さんと一緒に楽しいひとときを過ごしました。時には三次会にも行き、「つまみ」は信州のいなごの佃煮と野沢菜漬

追悼、 山岸光臣先生。



和瀧 利清
(高4回卒)

「……だから依頼の用件は何が、どうしてくれ……結論を先に言えよ！」ダラダラと説明している私にきつと腹立たしくなつて大声になったのだと思う。彼は結構短気なところもあったようだ。あまり学校時代は付き合いはなかった。この時から以後お世話になる。「お前な！商売していれば、こんな事の二つや三つ位はあるがアナー！」そして、「おい！この机の上のキズわかるか？……」「……？」「これなアヤクザが来てドス突き刺しやがって、その時のキズあつた！(エー！弁護士もコワイ仕事だなあと思つたりもした。またある時夕方に顔を出したら「おー！丁度いい下の店で一杯やるか！」先生は5時過ぎになると片手にウイスキーグラスを持って仕事をします」ですとそこにいた秘書のNさんが話してくれた。その後何度か同じ場面を私は見たものだ。彼は県陵では上田からの転校生だった。そつだ。父親の転勤がその理由だと、私はと言えば昭和20年の3月東京大空襲後の疎開組の転校生であつた。

転校生という共通な心情からか学校を出て社会人になつてからお互いに親しくなつた。私は在学中途病気のため休学して一学年下がつて四期の卒業になつたが卒業後の付き合いは三期生と四期生にまたがり、他の人の倍の交遊に恵まれ東京同窓会では両期の人達と親しくさせていた。40年以上もグラフィックデザイナーとして生活してきたが小学生の頃から絵を描くことが好きで県陵白虹会では部長も務めさせていた。好きの好きな友人達にも恵まれ将来は絵描きになろうと思つていた。やつと近頃絵描きの道の入口に立つたところだ。

ある時、裁判所の法廷で彼は私のことを「彼は芸術家、画家であります！」と紹介した。その時私はとても恥ずかしく感じた、でも何か込み上げてくるものを覚えていた。「お前は画家なんだー」と言われた事はショックだった。でももしかしたらやつぱり絵描きにならなければイカンかな！最後に、この道に引きずり込んでくれたのは弁護士山岸かもしれない、いやそつだと思つた。

このところ、昭和時代を代表する文化勲章の洋画家の偉業を顕彰するため小磯良平大賞展の全国巡回公募展(年齢階層テーマ自由)に第5回・第7回と二度入選を果たしました。毎回千点以上の応募のうち50点ほどの入選です。このことも山岸の熱い応援のおかげだと思つた。その彼も今はここには居ない、しかし私のなかには居る「先生よ！いろいろとお世話になつたなアー！」「何言つてんだ、さあ、飲めよ！」と聞こえてくる。ああ友よ！安らかにやすんでくれ……ありがとう！

会章

Saving Your Property & Life.

身近な不動産・ライフプランの相談所

三澤 政興 (高18回卒)

ファイナンシャル・プランナー (CFP)
一級ファイナンシャル・プランニング技能士
不動産コンサルティング技能士

株式会社 日本ビルワーク
〒112-0004 東京都文京区後楽 2-7-5 糸平飯田橋ビル4階
☎03(5684)9977 Email:m.misawa@tcn-catv.ne.jp
携帯:09025255037

Pearl-Colored Stone・Diamond

TSUKAHARA
JEWELRY

有限会社 塚原ジュエリー
塚原 哲夫 (高18回卒)

南洋珠・色石・ダイヤモンド輸入・卸
〒110-0016 東京都台東区台東 3-12-2 大上ビル2F
TEL/FAX:03-3837-9758 携帯:090-3234-6187



「鮎の会」に寄せて

佐藤 仁

(高27回恩師)

二十七回の皆さん、卒業三十周年記念「愛のリレー」を迎えおめでとございます。これは過去から未来にバトンタッチされる永遠の記念日であります。県陵を巣立った先輩後輩を問わず、一本の太い衣束帯で結ばれた堅い絆でもあります。大いに誇りをもたらす三大精神を日々心の糧として生活の中に活かしてください。皆さんは昭和三十一年から三十二

年に生まれました。当時を振り返ると、政治面では日本の国連加盟、日ソ国交回復、社会経済面では太陽族の出現、神武景氣、家電時代の幕開けでした。総じて皆さんは幸運な星の下に生まれました。四十七年四月県陵へ入学。終業式があり四十八年三月二十一日午後六時十三分、油の染みついた木造校舎は忽ち紅蓮の炎に包まれ、ほほ一時間余りで灰燼に

帰りました。この校舎炎上のごことに ついて一昨年五月同窓会関係者のご尽力により発刊された一〇八頁に及ぶ清浄な記念誌の三七八頁から詳細に記してあります。中でも土肥(沖)妙子さんの臨時生徒会大会についての記述は特筆すべき感動的なものです。職員生徒には忘れ得ぬ衝撃的な事件として生涯消えることはないでしょう。

「県陵の歩み」の発行前、二〇〇三年の春、十四回生で担任したクラスの中野幹隆君の強い要請に応えて、私が今まで書き留めてあった戦争体験記を記した雑文を纏めて「義

勇軍から八路軍へ―亡き拓友に捧ぐ」と題して神田の哲学書房から発刊しました。それは余りにも多くの同志の無残な死を悼むものです。

私の十五の春は極限にある生死の境をさま迷いました。戦時という不運な星の下に生まれた私にとって、ことし戦後六十年を迎え、だれよりも平和の尊さを身にしみて感じます。喜寿を前に余生を生き水らえて「歳々にわがかなしみは深くして、いよよ華やく生命なりけり」(岡本かの子)の心境です。と同時に「あしたはまたあしたの風が吹く…」(Tomorrow is another day - M.Mitchell)のようです。

合わせ持つことこそ

千村 重平

(高27回恩師)

県陵には、昭和46年より6年間お世話になり、その後、深志や蟻ヶ崎など市内の学校にも奉職しました。生徒であった同窓生は、父や母になられてPTAとして学校経営にご参加くださるなど、時代の移り変わりを感しながらも楽しい教員生活を送らせてもらっています。そんな中で生徒に話したり父母会でお話ししたことを簡単に紹介したいと思います。

「9・11テロ」ブッシュ大統領は、フセイン独裁よりも宗教を意識し新十字軍などと発言し怒りを

露にしました。4年が過ぎた今日、イラク本土はキリスト・イスラム教の一神教同士の宗教戦争へと泥沼化の様相を見せ、イエスカノーが白黒つけねばならない争いを繰り広げているのであります。一方、日本や東アジアは、自然神「お日様」祖先を敬う「仏教」の神仏習合であり、心広く多くを許しながら生きていける寛容の宗教を持つております。五木寛之氏は「神棚と仏壇が一緒に祭られる多教習合は、一神教が批判するような恥ずべきものではなく、21世紀に伝え

るべき大切な感覚である。」と述べられております。物質至上主義を背景とした一神教の対立を、寛容の心と祈りを中心とした東洋思想や混交宗教が仲を取り持たねばならないときが来ていると感じております。地球的規模で考え足元から行動できるそんな人間でありたいものです。高校生には、そんな日本人として世界に羽ばたいて欲しいのです。

寛容の心は、故郷の松本平、安曇野や常念の川や山が育んだものです。自然豊かな教育環境の整備など、後輩へのご支援を心からお願い申し上げます。

(勤務先・県教育委員会事務局 指導課 教育主幹)

会社設立・税務一般・経営指導 三村税務会計事務所

所長税理士 三村 和久 (高2回卒)

税理士 岩 渕 佳子
公認会計士 北 村 恵美
税理士 金 子 敏博

*以上4名で2006年1月に税理士法人を設立致します

〒170-0003 東京都豊島区駒込1-14-7-201 ☎03-3947-6651 ☎03-3947-6672

大名町の はんこや

有限会社 木下製印社

〒390-0874 長野県松本市大手 3-3-5 [大名町通り]
TEL.(0263) 32-2665 FAX.(0263) 36-2665

http://www.inshop.co.jp
hankoya@inshop.co.jp

営業時間 8:30~19:00 [土曜日は17時閉店]
定休日 日曜・祝祭日

横田 尚江 (高29回卒)

木下 匡晃 (高35回卒)

Be Factory

ビー ファクトリー

彫刻家

中村 茂幸 (高27回)

アトリエ

〒123-0824 東京都足立区鹿浜1-13-19
☎03-3857-8155 ☎03-3857-8795

E-MAIL be-fa@onyx.dti.ne.jp
http://www.onyx.dti.ne.jp/be-fa/



銀幕の灯火が松本からまた一つ消えた

村上 重義 (高23回卒)

お腹の底から
 伝わる重低音。前
 から後ろから立体的に迫る音楽。我が家のステレオではとても味わえない迫力ある臨場感。映画館は音キチだった小生を別世界に案内してく

いた頃、よく映画を観に行っていた。[卒業]「オリバー」[ある愛の詩]「ロミオとジュリエット」[ひまわり]など、今から思えば映画史を彩る有名な映画を観ていた。映画から夢を与えられ、映画に

お腹の底から伝わる重低音。前から後ろから立体的に迫る音楽。我が家のステレオではとても味わえない迫力ある臨場感。映画館は音キチだった小生を別世界に案内してく

五日をもって閉館となった。すでに松本の町からピカデリーや松竹映画館は消えていたが、縄手にあつて、終戦直後の昭和二十一年から六十年近くにわたって上映し続けてきた映画の殿堂が消えた。最後の番組は「ラストサムライ」であった。

次いで、十月二十四日は西堀で、これも五十年にわたって上映してきた東宝セントラル座が閉館となった。最後の三週間は記念番組を組み、「ET」「ウエストサイド物語」「タイタニック」とそれぞれの時代を象徴する映画を上映して終わった。

松本から二つの映画館が消え、カルチャーが抜け落ちたような物寂しさを感ずる。フィルムからDVDへとメディアが大きく変わり、ホームシアターで迫力ある影像とオーディオを楽しむ現代、映画館の経営は難しい状況にある。

今年のお正月に久しぶりに夫婦で映画館に出かけた。午前のせいか観



芸術的な感性や心の叫びのようなものを感ずっていた。

当時は県陵にも映画があり、県陵祭には自主上映やポスター・パンフなどを掲示して、意気盛んに活動していた。

その頃よく行った中劇とシネサロンが昨年一月十日

客は誰もおらず、広い劇場を一人で見切った。これでは閉館に追い詰められるのも止む無しと感じた。

中劇の後利用をめぐっては、「中劇を再生させる市民の会」が発足し、何とか土地建物を取得できないのかと運動が展開されている。昨年十一月には「アラビアのロレンス」を自主上映して活動の環を広げた。一方東宝セントラルは建物が壊され、見る影もなくなりました。

旧き良き時代の銀幕の映像と迫力ある音楽への思念の念を禁じえない。

人生は 楽しく前進

渉外委員長 奥原 輝男 (高15回卒)



他人事ではなく、自分が還暦を迎えるとは全く考えていなかったのです。

これまでは実年齢ではなく青春年齢の気持ちでいつも仕事に、スポー

ッに進進してきました。

私の人生「光陰失ふことし」です。人生の大きな節目として、これからの人間らしい生き方を考えなくてはなりません。

我々の年頃になると歩んだ道を振り返ってみたいくなるのか「わが人生に悔いはなし」や「マイウェイ」を歌う仲間が多くなりましたが、無理に自分を納得させているようで辛いものがあります。

私の人生モットーは周囲の仲間を大切に、毎日を悔いのない生きがいのある生活をエンジョイする。また生きている限り「青春」である気持ちを大事にして、絶えずあらゆる面に於いてプラス思考に徹して、仕事にスポーツに、さらなる前進を続けることです。

この頃、旧友からの誘いが多い。期するところあって二年間封印していたゴルフもポツポツ解禁しようか。

身辺のこともいささかおろそかにしてきました。

妻には随分苦労をかけた。私には過ぎたる伴侶である。妻と水入らずの山登りも悪くないな。

ちよつと余裕をもって、大好きな信州の景勝地を見て回るのも乙なものでしょう。そしていつまでも物事、前向きに考えれば「何があっても大丈夫」のはずです。万一反れることがあっても前に向って倒れないものです。これからの人生もまんざら捨てたものではなさそうです。

ネット化されたポストイング・システムで新しい価値を提供するピー・アイ・エヌ

株式会社 **ポストインネットワーク**

敏速・丁寧・格安!DM、郵便の発送代行は当社におまかせ下さい。

代表取締役 **村越 政雄** (高21回卒)

本社 〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-10-15 室岡ビル2F ☎0422-23-7620 ☎0422-23-7630

練馬センター 〒180-0004 東京都練馬区谷原4-20-40 増田倉庫口棟 ☎03-3904-8418 ☎03-3904-4050

データ管理・インターネット
 御社のIT革命のご相談は

M&M
 M and M Inc.

有限会社エムアンドエム
 代表取締役 村越 政雄 (高21回卒)

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-10-15 室岡ビル2F ☎0422-23-7901 ☎0422-21-7966

ある端緒

西村 康彦
(高11回卒)

来し方をふりかえる年齢になって、県陵の三年間を回想するとき、決って思い出すのは、結局人生を方向づけることになった小さな緑軸色の破片のことである。

グラウンドの東南隅、いま体育館が建つあたりに、昭和三十一年移築の日本家屋があり、合宿所「白樺寮」とよばれていた。白樺寮は、ほぼ生徒による自主運営という稀有な施設で、自習や討論をして何よりも熱く青春を謳歌するコンパ会場であった。

今にして思えば、寮の移築とそれに伴って進められた校庭整備工事でも出土したのであろう、古代の土師器、須恵器の小片が土砂に混じって寮の周辺に散らばっていた。これが考古少年の興味を強く惹き、折りをみて、ことに雨後に歩くと沢山採集できたのである。

破片はそれらの内のひとつで、縦横三センチほど、肌色に近い胎土が薄い緑色の釉薬を通してみえる、碗か皿の口縁部分であった。県十世紀平安時代中期であろう。県

陵の地名ゆかりの「県主」の官衛の器皿に相応しい珍しい破片である。

「学校でてから十余年……」どころではないが、その後の歳月を中国美術史、特に陶磁史の研究を専攻としてきた。洋の東西を問わず、人間が考えだした最古の色釉である緑軸は、総てのやきものの基本となり、その上に豊かな変遷の歴史が重ねられた。研究のために日本や中国で至宝とされるやきものを具さに手にとり観察するたびに、いまだに研究の原点になったともいふべき小さな破片が思い出されるのである。県陵でうけた日々の教育とは全く別個のもだったが、私にとつては母校からうけた最大の学恩ともいふべきであろう。

破片は、当初所属していた「風土研究部」部室の整理戸棚に収めたが、今もあるだろうか。大体育館改築工事の現場から、全国的にも珍しい「緑彩花文碗」（緑軸を描線に使い花文を描いたもの）の破片が発見されたのは平成十三年のことであった。しばらくのち、博物館による発掘報告速報展でこの破片をガラスケース越しに見て、その貴重性を再認識したとき、雨上がりの校庭、白樺寮の青春、そしてそれからの四十余年が一瞬のうちに胸の中に去来したことを覚えていた。

高校3年の初夏、柔道インターハイ県予選の団体戦決勝、怪我で欠場した私の祈りは届かず僅差で敗退、私の高校時代の柔道は次の北信越大会で終わった。さあ今度は大学進学を目指して猛勉強のはずだったが、「自分は将来何をやりたいのだろうか、とりあえず大学へ行って考えよう。いや、そんな考えではダメだ……」と迷いながら結局就職の道を選んだ。昭和49年春、卒業と同時に塩尻駅に配

特急「あずさ」に乗って……



太田 稔 (高26回卒)

大学を卒業した昭和54年、1年だけだったが幸運にも故郷の松本駅で働かせていただいたことがあった。昭和60年には再び上京することになり以後20年間、ダイヤ改正など鉄道輸送の仕事が続いている。この間、信州に関わる仕事には自然と熱が入り、スキー専用列車「シユプール号」や、新宿と松本を2時間半で結ぶ「スーパーあずさ」計画、長野新幹線の開業、そして長野オリンピックでは天皇皇后両陛下を新幹線で信州までご案内する重責も任せていただいた。信州には帰れなかつたが、「質実剛健であれ、大道を闊歩せよ、弱音を吐くな」を胸に、県陵卒業生として負けられない挑戦の20年だったことを振り返る。

属となった時のことを思い出す。当時は国鉄の中に大学があり受験資格は2年間現場で働くことだった。「よしッ！自分のみんなどは違う道を目指そう！」と心に決めたが全国で50人という狭き門、目標を口にすれば笑う人もいた。30年前、県陵卒業生として負けられない最初の挑戦だった。そして2年後、目標を達成し駅の仲間の盛大な見送りの中、特急「あずさ」に乗って上京したことを思い出す。

松本市と同じ匂いのする川越市に住んで10年になるが、年老いた両親は木曾平沢で2人暮らしである。末娘の「あずさ」も高校に合格したことだし、春休みに祖父母の顔を見に行かせるのもいいだろう。自分も新宿発20時ちようどの特急に乗って、塩尻から最終に乗り継げば22時50分には木曾平沢に着ける。そうだと今度の週末は特急「あずさ」に乗って帰ろう。

鳥羽クリニック
内科・胃腸科・肛門科

院長 鳥羽 昌仁 (高22回卒)

〒157-0066 東京都世田谷区成城6-6-9 成城サウスビル2F
☎03-5490-9351(代)

政府登録ホテル 全日本シティホテル連盟会員

松本ツリーレストホテル

代表取締役会長 縣 芳郎 (中6回卒)
代表取締役社長 縣 正長 (高17回卒)
代表取締役専務 縣 秀享 (高23回卒)

松本市深志 2-4-24
TEL.0263-33-9000 FAX.0263-33-6435
ホームページ
<http://www.mccl.or.jp/www/mtourist>





東京での個展を終えて

武井豊子
(高26回卒)

松本で細織りを始めて今年で三十年という節目の年に、たまたま縁があつて東京で個展を開く運びとなりました。東京では初めてのことで、「はたして大勢の人が来てくれるのか」とそればかりが心配でしたが、幸思つた以上の人出でした。それというのも昨年行われた私たち二六会の愛のリレーをの行事を通して再び同窓生の交流が深まり、今回の個展の案内も二六会実行委員長から東京同窓会の皆さんにメールで送って頂けたからでしょう。大変な難かつたです。これまでの個展と比べると男性がとても多く、しかも熱心に作品を見て頂いているという印象でした。お話をしてみると実は県陵の先輩だとわかつて、初対面にもかかわらず懐かしいような、とても嬉しい気持ちになりました。私の作品は自然の風景をテーマにしたものが多く、またすべてが草木染め、手織りのためか、都会で毎日忙しく活躍されておられる同窓生の方々に松本や田舎を思い出して頂けたのかもしれない。いろんな貴重な感想や励ましのお言葉を頂きました。また期間中に東京二六会のメンバーでミニ同窓会も計画して頂き、卒業以来の友にも会えて楽しい一時を過ごすことが出来ました。

しかし少し寂しい事もありました。それは信州袖、松本袖の名前を初めて聞いたとおっしゃる先輩も居られたからです。国の伝統工芸品として大島袖等と

同時に指定されて三十年経つた今でもまだ浸透していないという事にショックを受けました。着物離れと言われる今ですが、やはり着物は世界に誇れる日本の文化で、ヨーロッパでも昨年キモノのテキスタイルコンクールが行われた程です。最近はまだ着物好きの間で、袖がブームになっています。特に松本袖は他の産地と違って分業制でなく各工房が作家的に個性のある一品物を作り出しています。これまで第一線でバリバリと活躍してこられた同窓生の方々にも是非着物を着る機会を作つてカッコ良く着こなして頂きたいです。そして日本の素晴らしさを残すべく、私も頑張つて織り続けて行きたいと思ひます。



社会人になって一年が過ぎた。今までの学生生活のどの一年よりもあつという間だらうと思ふ。

小学校の頃から英語を学び始め、本場の英語に触れてみたいと思ひながらも海外に行く勇気がなかった私が、県陵の英語科に進学し、二年生の時、初めて松本市主催の研修プログラムでメリカに行くことを決めた。持ち前の明るさと適応力ですぐに現地の生活にも慣れ、楽しい時を過ごすことができた。また日本とは文化も考え方も違う世界を知り、衝撃を受けた。それから私は、臆することなく様々なことに挑戦するようになった。長野県の高校生交換事業で行つたフランスでは、その文化に興味を持ったことがきつ

今おもうこと



竹内 恵美
(高51回卒)

かけとなり、大学でフランス語を専攻し、一年間留学もした。国境を越えて様々な人たちと知り合うことにより、自分の考え方や視野も広がりが成長してきたように思う。そんな私には今、愚痴をこぼせる昔からの友人もいれば、意見をおつけ合える友人、住んでいる環境・文化は違つても一緒に楽しくする外国の友人までいる。全ての人が私にとつてかけがえのない存在であり、私を支えてくれているように思う。

そして今、学生生活がいかに充実していたか、また自分の糧になつていくかを改めて実感している。仕事では、時に英語やフランス語も使う。客層も幅広いため、今までの様々な人との触れ合いや経験が活かされている。慌しく過ぎていく日々の中、出会いを大切にしながら経験を積み重ね、より自分を磨いていきたい。

お知らせ

この度県陵白虹会東虹会出身高校4期卒和瀧利清氏が第7回全国公募小磯良平大賞展に二度目の入選をしました。その東京展が開催されますのでご案内いたします。

小磯良平(1903年~1988年)大賞展とは我が国の洋画壇を代表する、文化勲章はもとより、芸術院会員、東京芸術大学名誉教授、赤坂迎賓館の壁画などの偉業を顕彰し美術界のさらなる発展を願つて1992年に創設されました。絵画の全国コンクールであつて年齢や国籍は問わずテーマも自由・抽象・具象の区別もなく真に力量と魅力ある作品を取り上げることを前提にビエンナーレ方式(隔年)公募で毎回の応募作品も800人以上で作品数は1200点余り入選率25倍という厳選です。神戸市立小磯良平記念美術館を初めとして北海道展・東京展の三ヶ所で展覧会が開催されます。この機会にぜひご来場いただけますようご案内いたします。

- 主催 ● 小磯良平大賞展運営委員会
- 神戸市
- 財団法人神戸市民文化振興財団
- 読売新聞社
- 日本テレビ放送網
- 読売テレビ
- 後援 ● 読売テレビ
- 期日 17年5月26日(木)~30日(月)
- 会場 東京駅八重洲口大丸百貨店に隣
大丸ミュージアム
- 入場無料



松本県ヶ丘高等学校東京同窓会 平成16年度会計報告

自平成16年4月1日至平成17年3月31日 (単位:円)

収入の部		支出の部	
適用	金額	適用	金額
前年度繰越金	367,639	総会関係支出	1,370,030
総会関係収入	1,864,000	懇親会費	1,146,900
総会会費	1,712,000	諸雑費	223,130
寄付金	152,000	実行委員会活動費	170,430
雑収入	0	会報発行費用	812,913
その他	0	印刷代	447,950
会報発行収入	715,000	発送費等	310,530
広告料収入	635,000	編集会議費	54,433
寄付金	80,000		
その他収入	1,048,275	その他支出	1,299,394
会費勘定繰入	481,275	幹事会議費	619,202
本部助成金	100,000	渉外費	187,670
寄付金	2,000	活動交付金	180,000
幹事会会費	465,000	事務費	68,262
その他雑収入	0	通信費	27,970
		HP作成費	129,150
		諸雑費	21,390
		慶弔費	65,750
銀行利子	6	次年度繰越金	342,150
総合計	3,883,920	総合計	3,883,920

平成16年度特別会計の部

1. 同窓会会費特別勘定

前年度末残高	5,382,556円
本年度終身会費受入額	640,000円
本年度年会費受入額	480,000円
郵便振替手数料等	-27,360円
当期普通預金利息	40円
前年度会費会計勘定繰入	-481,275円
「りそな銀行行徳支店」 会費 普通預金残高	5,993,961円

2. 特別基金勘定

「りそな銀行行徳支店」定期預金	1,622,382円
内・当期預金利息	605円

上記の通りご報告いたします。

平成17年4月20日

会計幹事 百瀬 興一 小林 哲彦

会計監査報告書

会計幹事より提出を受けた会計帳簿、領収書、伝票類をもとに慎重に監査した結果、上記会計報告は適正であると認めます。

平成17年4月20日

会計監査 古沢 之教 太田 均

平成15年度次期繰越金内訳

みずほ銀行普通預金	342,153円
会計幹事手許現金	0円
合計	342,153円

会費振込みのお願い

会則第12条に基づき平成16年度の年会費の徴収を行っています。同封しました振込用紙をご利用のうえ6月末日までにお振込下さい。併せて終身会費も受付けております。なお総会当日も受付にて年会費の徴収も行いますので併せてご利用下さい。
年会費 2,000円 終身会費 20,000円 財政委員会

平成16年度事業報告

先ず初めに、故山岸光臣会長のご冥福を心からお祈りいたします。

体調不良の中、県陵を愛し、同窓生を愛する気持ちから体にムチ打って第37回定期総会に出席。改めて山岸会長の偉大さを知る挨拶。「安定運営に甘んじることなく、今一度県陵の三大精神の原点に立ち返って、更に力強く前進しよう」として4期目の会長を快くお引き受けされスタートを切りました。それから3ヶ月後、突然の悲報に接し痛惜極まりませんでした。山岸会長は、私たちの手の届かない遠いかなたに旅立ってしまいました。残された私達は茫然自失となり、しばらくは何も手につかないそんな状況でした。悲しい中にも故山岸会長の意を体して爾々と活動を再開。諸先輩から繋いだ60余年の伝統ある県陵東京同窓会の絆という襷を後輩にバトンタッチし、絶えることなく永遠に県陵の絆が続いていくように頑張っていくことが幽霊界にいられる山岸会長を初め多くの鬼籍に入られた諸先輩の意に沿うことと頑張っています。どうぞ安心して心安らかに眠ってください。

合掌

後任会長の人選について、樋口、大澤両名誉会長、副会長の皆さんとご相談、その意向を反映して、高校4回卒の小林全氏にお願いすることを12月16日の合同幹事会に提案。全員一致で承認を頂きました。小林全氏も緊急避難として止むを得ないとして快くお引き受け頂きました。本日ご報告と同時に皆様のご賛同をお願いするものです。

各活動の計画審議、執行サポート等を幹事会が中心となり進めている。基本線は先輩から後輩へ、人が代わり、時代が変わっても同じベクトルの中に新しい感覚と睿智を持って新機軸の提案等を引き継ぐことで行っている。和気藹々の中、毎回活発な意見交換がされ、その後の懇親会では先輩後輩入り乱れて

和やかな楽しい交流が行われています。

平成16年度は“集え 大人の県陵祭”として6月12日(土)新宿センチュリーハイアットに190余名の同窓生が集い、また松本からは本部同窓会長、長野県で初めての民間出身の京田伸吾母校校長や多くの恩師、同窓生が参加され会に彩を添えてくれました。今年のキャッチフレーズのとおり東京における大人の県陵祭が催され、懐かしのフォークソングを初め青春歌謡を皆で歌う。文字通り同窓生一人一人が主役となって楽しく大きな盛り上がりを見せました。

会報「あがた」も26号を無事配布。また、県陵レディースは別記のとおり約70名の参加のもと、お座敷列車でカラオケ、ダベリング、現地での各種体験教室への参加と盛りだくさんの内容に十二分に満足。充実した楽しいイベントが毎年待たれる状況になっている。アルペン会も年2回、60名前後の参加のもと青空と緑の自然の中で老若それぞれが楽しく競い合っています。ホームページもサイト管理者の努力によりいろいろな情報がきめ細かく揭示され、アクセスもまた増えております。個人や同期、倶楽部等情報をどんどん投稿して有効に活用をしたい。渉外関係は、本部同窓会への参加を初め中信同窓連、県同窓連の総会、懇親会、旅行会、ゴルフ会に大勢の同窓生が参加し交流を深めまた僚友校との交流にも積極的に取り組み、県陵の枠だけでなく中信を初め信州の各地の皆さんと懇親交流を図っています。

会員も高齢化と鬼籍者の増更には在京同窓生の減少等で約3,000名前後になっております。

最後になりましたが、年会費、終身会費の納入、また会報への広告、寄付金等のご協力に心から感謝申し上げます。引き続きご支援をよろしくお願い致します。

幹事長 栗山英毅(高11回卒)



人事・総務の“業務改善”支援

株式会社 ビジネスネットコーポレーション

代表取締役 降旗 真寿幸(高22回卒)

濱 一昌(高8回卒)

竹野入 俊木(高25回卒)

寺島 巧二(高34回卒)

SE募集中

〒105-0014 東京都港区芝3-2-18 NBF芝公園ビル10F
http://www.busnet.co.jp TEL:03-5444-3066

縣陵三一會

昭和31年 高8回卒

会 長 澤田 吉雄

東京事務局 濱 一昌

☎ 04-2945-6555



● 縣陵東京同窓会ウェブサイト ● kenryo-tokyo.net ●

同窓会サイトの大きな役割は、単に告知とその報告だけでなく、会員相互の親睦の場作り、活動の支援などと考えております。同期会、飲み会から展覧会、音楽会、講演など、会員個人の活動、同期会等の活動のわけへだてなく、いま以上に積極的にお知らせしてゆこうと考えております。

それにはフレッシュな情報が欠かせません。トップページのフォームメールからどしどし御連絡下さい。都合

がつくかぎり、こちらから取材に伺います。

ビジュアル、文章表現など、まだまだ試行錯誤の連続ですが、ウェブの技術的なアドバイスや会員登録フォーム作りなど、25期の高嶋知由さんにもたいへんお世話になっております。この場をお借りして御礼申し上げます。

今後とも縣陵東京同窓会サイトをよろしく願いいたします。

(サイト管理者：佐原輝夫／高23回卒)

● 縣陵東京同窓会アルペン会 ゴルフコンペ報告 ●

第51回成績 平成16年5月13日(木)

会場 太平洋クラブ&アソシエイツ江南コース
 参加者 51名 天候 快晴
 優勝 山本 靖弘(高校13回)グロス 84 ネット72.0
 準優勝 宮川 郁雄(高校5回)グロス100 ネット72.4
 ベストグロス 寺澤 祐則(高校26回)グロス 79

第52回成績 平成16年10月13日(水)

会場 富士小山ゴルフクラブ
 参加者 36名 天候 雨
 優勝 今村 勝治(高校 8回)グロス87 ネット71.4
 準優勝 吉沢 祐司(高校12回)グロス88 ネット72.4
 ベストグロス 山本 靖弘(高校13回)グロス81

事務局 濱 一昌(高8回卒)E-mail tokorohama@aol.com

県陵演劇部OB会のお知らせ

お元気ですか。ようやく春になりました。

去年スタートした、県陵演劇部東京OB会も、わらびの芽を広げようと、初めての集いの機会を次のように開催する事にしました。

◎6月11日(土)AM11:00ヨリ

◎ホテル 海洋(総武線大久保駅より徒歩5分)

◎TEL:03-3368-1121

◎会費:5,000円

会場は22階総ガラス張りの眺めの良い部屋です。この日は期せずして縣陵東京同窓会の総会が同ホテルでPM4時から開催されます。松本からも演劇OBが何人か顔を見せませう。ご都合がよろしければ、ぜひ参加して下さい。

●連絡先 東京OB会連絡事務所

「花てまり」安藤 まで TEL(03)3355-8710

HIGH QUALITY ILLUSTRATIONS
& DESIGN
TELLY'S OFFICE INC.



佐原 輝夫(高23回卒)
telly@iris.dti.ne.jp
http://www.iris.dti.ne.jp/~telly/

Graphic Design
有限会社 荒木デザイン室

グラフィックデザイナー 荒木 仁(高23回卒・1組)
〒106-0032 東京都港区六本木7-9-7 2F
TEL.03-3401-1394 FAX.03-3401-1816
E-mail j_araki@t3.rim.or.jp

ビジネスの信用は自社ドメインで



www.arcplanet.com
高嶋 知由(高25回卒)

国連英語検定試験特A級合格
実用英語検定試験1級合格
通訳案内業国家試験合格
(財)原子力安全研究協会委託翻訳者

日本翻訳連盟会員
勝野 憲昭(高12回卒)

〒362-0053 埼玉県上尾市戸崎1-101
☎(048)781-9131
E-mail nkatsuno@jcom.home.ne.jp

山岸 俊一
(高21回卒)



一級建築士事務所
山岸建築デザイン事務所
東京都北区田端4-21-3 ☎03-3823-8255



須江税理士事務所

税理士 須江 和彦(高25回卒)

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚1-59-7-803
☎03-3378-6542 ☎03-3373-8047
E-mail:sue@tkcnf.or.jp

巢山 英毅
(高11回卒)

〒178-0062
東京都練馬区大泉町6-11-6
☎03(3925)0244 ☎03(3867)5171

AsahiKASEI
株式会社アサヒケーゼイ

家づくりをお考えの方はご相談下さい。

ロングライフ住宅。
ハーベルハウス



東京法人営業部 日比谷営業所
所長 樋口 哲(高28回卒)

宅地建物取引士
ファイナンシャルプランナー(日本FP協会会員)

〒105-0003 東京都港区西新橋2-39-3 SVAX西新橋ビル7F
TEL:03-3507-2080 FAX:03-3459-4968 E-mail:higuchi.tb@om.asahi-kasei.co.jp
携帯:090(5424)4425

土・日営業(火曜・水曜定休)